

パルマ (Parma)、モデナ (Modena)、マントヴァ (Mantova) 1泊旅行

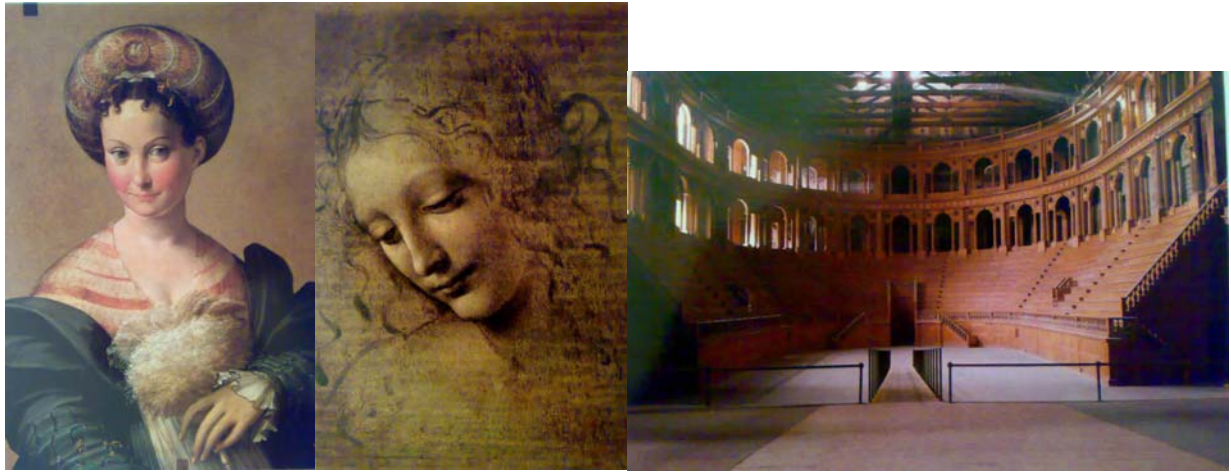
ミラノから、ピアチェンザ、パルマ、モデナ、ボローニャと続くエミリア・ロマーナ州各地への路線、クレモナ、マントヴァと続く、ロンバルディ州各地への路線、そして、ブレーシャ、ガルダ湖、ヴェローナ、ヴィチエンツァ、パドヴァ、ヴェネチアと続く、ロンバルディ州からヴェネト州へと続く路線は、どれも、どの駅で降りても歴史を感じる街となっています。まさに、日本に要る人から見れば、よだれをこぼす地域と言えるでしょう。これらの地域を効率よく回ってくる方法を考えて、1泊で、パルマ、モデナ、マントヴァを回ってきました。当初の予定では、クレモナも回ってくる予定でしたが、天候が悪かったために、マントヴァから真直ぐミラノに戻る事にしました。

1日目は、ロゴレドを7時34分のパルマ行きでパルマまで行き、その日の午後にモデナに移動、夜には、マントヴァへ移動して、マントヴァで1泊します。2日目は、ゆっくりとマントヴァ市内を観光して、夕方の列車で真直ぐにロゴレドに戻りました。列車はすべてレジョナーレで、チケットも当日購入する事にして、無理をしないように、細かなスケジュールは経てない気ままな旅行です。従って、当初の予定は、マントヴァからの戻りに、クレモナによることにしていましたが、生憎の雨でしたので、クレモナはキャンセルしてしまいました。従って、ロゴレドへの戻りも当初の予定よりも早く、夕方5時半には到着し、旅行疲れも少ない旅行でした。

土曜日の朝9時にパルマに到着です。土曜日の朝にパルマにした理由は、パルマの土曜市です。パルマの駅からピロッタ宮殿まで、冬物の洋服、日用品、食材等、幅広いものを売っています。ここで早速ショッピングからこのたびが始まりました。ショッピングの後は、ドゥオモと洗礼堂です。残念ながら、鐘楼は修復中でしたが、パルマのドゥオモは本当に素晴らしい教会です。特に、コレッジョのフレスコ画はすばらしく、また、写真を撮ってしまいました。



パルマは何度来ても、活気があり、しかも、歴史的な建物もすばらしく、大好きな街のひとつです。パルマの歴史地区は、世界遺産の暫定リストに入っているようですが、近いうちに世界遺産に登録されてもおかしくないと思います。そんな事を考えながら、ピロッタ宮殿の美術館に行き、また、心の恋人「トルコの女奴隷」に会いに行きました。ここには、前回は気がつかないのですが、ダヴィンチの絵もありました。女性の横顔でとても上品に描かれています。美術館と併設のファルネーゼ劇場もすばらしいところです。ここも2回目ですが、また大満足でした。



パルマでパルマハムの入ったパニーニを食べて、2時の列車に乗り30分でモデナです。モデナの歴史地区は世界遺産に登録されていますが、パルマと比べるとちょっと落ちます。その理由は、ドゥオモの一部と鐘楼が修復中でカバーされているからです。美術館のエル・グレコの絵も、小さなもので少しがっかりです。それでも、ここは世界遺産ですので、ドゥオモの外観や中のモザイク装飾は見事ですし、グランデ広場を含めて、その街並もすばらしいところです。



モデナの街を3時間ほどぶらついて、6時過ぎの列車で、今度はマントヴァに向かいました。マントヴァには7時半に到着し、ホテルにチェックイン後直ぐに、エルベ広場に行って夕食です。パルマで食べられなかったサラミ（マントヴァのサラミも名産の一つのようです）とハムの盛り合わせとマントヴァ名物のかぼちゃのトルティーニは美味でした。夜のマントヴァの街もすばらしく、特に、ライトアップされたサン・ジョルジョ城は1泊しないと見る事が出来ません。日曜日は生憎の雨でしたが、雨のマントヴァの街も良いものです。エルベ広場、ソルデッロ広場は何ともいえない雰囲気があります。サンタンドレア教会、ドゥカーレ宮殿とサン・ジョルジョ城、ドゥオモも必見です。ドゥオモの先を湖のほうに歩くと、ヴェルディのオペラで有名なりゴレットの家がありました。また、今回は、学術劇場も見に来ました。それほど大きくはないのですがなかなか趣のある劇場です。もちろん、最後にはテ宮殿も見に来ました。テ宮殿公園の雨にぬれた紅葉がとてもきれいでした。マントヴァの街は、世界遺産に登録された条件はすべて揃っています。雨が降っていても、その評価は落ちることはありませんでした。今回は、雨のおかげで、市内バスにも乗りました。日曜日でも、15分おきに、市内を循環していて観光客にはとても便利です。インフォメーションも市内に数カ所あるよ

うで、中の人たちもとても親切で観光客に優しい街です。



今回の旅程を説明します。土曜日の朝、ロゴレド発 7 時 34 分のレジョナーレでパルマ着が 9 時ちょっと前、料金は 8 ユーロです。パルマからはボローニャ行きのレジョナーレが 1 時間間隔であります。約 30 分、4.3 ユーロでモデナ着です。値段はちょっと割高ですがきれいな列車でした。モデナからは、ヴェローナ行きのレジョナーレが 1 時間間隔であり、約 1 時間、料金は 3.95 ユーロでマントヴァに着きます。どうも、乗車料金は距離だけではなく列車の質も関係あるのかもしれません。地方に行くと、料金が少し割高ですが列車はその分きれいになります。今回の旅行は、列車の利用が便利のようにルートを決めましたが、土曜日の夜までにマントヴァに着くこと以外は、特に細かな計画を立てずに気ままに旅が出来るようにしました。また、今回はマントヴァが最終目的地でしたが、モデナからヴェローナまで行っても良かったかもしれません。マントヴァからヴェローナまでは約 45 分ですので、モデナからでも 2 時間はかかりません。但し、ヴェローナからミラノにレジョナーレで戻ると、ミラノ中央駅或いはランブラーテ行きとなります。

マントヴァでは、駅前の 3 つ星ホテルに泊まりました。1 泊 80 ユーロです。良いホテルではありませんが、きれいなホテルで従業員も親切でした。マントヴァは親切な人が多いのでしょうか。ますますこの街を気に入りました。ホテルは、正に駅の真ん前なので、帰る時間まで荷物を預けておくのに非常に便利でした。エルベ広場までは、駅から歩いて 6,7 分ほどですので、散歩にはちょうど良い距離です。それに、観光名所のホテルに比べて料金も安いようですので、駅前のホテルで正解でした。今回の旅の最後の列車はマントヴァからロゴレドです。これもレジョナーレで、料金は 8.75 ユーロで所要時間は約 2 時間です。クレモナはその中間に位置していますので、帰りにクレモナに寄ることは全く問題ありません。でも、あまり欲張ると印象が薄くなってしまいます。

1 泊旅行ですと、いつもの日帰り旅行では見られない夜の観光地を見ることが出来ます。それに加えて、現地のレストランでその土地の美味しいものも食べることも出来ますし、帰りの列車を気にする事なくゆっくりと観光できます。これからは、安ホテルを探して、1 人でもたまには 1 泊旅行を試してみようかと考えています。